

令和 8 年度

第 1 回 柏市アフタースクール事業運営評価懇談会

会 議 資 料

令和 8 年 8 月 7 日

次第および目次

1 開 会

2 あいさつ（生涯学習部長）

3 委員及び事務局紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2 ～ 3

4 座長・副座長の選出

5 議事

(1) 柏市アフタースクール事業運営評価懇談会設置目的及び今後のスケジュールについて・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4

(2) 「高小すまいる」実績報告について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5 ～ 8

(3) 柏市アフタースクール事業の運営状況について・・・・・・・・ P 9 ～ 1 3

(4) 評価項目（案）及び評価基準について・・・・・・・・ P 1 3

6 現場視察（松葉第二小学校）

7 次回開催予定

令和 9 年 2 月頃

8 閉会

■配布資料

別紙 1 柏市アフタースクール事業運営評価懇談会設置要領

別紙 2 アフタースクール事業の概要

別紙 3 評価項目及び評価基準

別紙 4 現場視察ルート及び移動車一覧

柏市アフタースクール事業運営評価懇談会委員名簿

所 属	氏 名 ※敬称略・五十音順
(地域学校協働活動関係者) 酒井根中学校区 学校運営協議会 会長	いつみだ ひろみ 五味田 博 美
(柏市PTA連絡協議会関係者) 柏市PTA連絡協議会 副会長	きむら のぶこ 木 村 能 芙 子
(子育て支援団体等関係者) かしわ子育てまちづくりネットワーク ここっと	さとう しゅうた 佐 藤 秀 太
(学識経験者) 開智国際大学 教育学部教育学科 教授	つちい まさひろ 土 井 雅 弘
(柏市小中学校校長会) 柏市立高柳小学校 校長	ふくだ みわ 福 田 美 和
(青少年健全育成団体関係者) 柏市青少年相談員連絡協議会	やまぐち めぐみ 山 口 恵 美

柏市アフタースクール事業運営評価懇談会事務局名簿

所 属 (機構順)	氏 名
生涯学習部長	みやもと さなえ 宮 本 さなえ
生涯学習部 アフタースクール課長	たどころ ひでき 田 所 英 樹
生涯学習部 アフタースクール課	担当職員

※学校教育部学校教育課：担当職員（オブザーバー参加）

1 議事

(1) 柏市アフタースクール事業運営評価懇談会設置目的及び今後のスケジュールについて

柏市では、安全・安心な子どもの放課後の居場所づくりを目指すアフタースクール事業について、より効率的かつ速やかに環境を整えるため、令和7年度に公募型プロポーザル方式により、他市で同様の事業の運営実績を有する民間事業者を選定し、当該事業者に事業運営を委託するとともに、協議を経て令和8年4月から事業を開始した。

これに伴い、民間事業者による運営状況について、第三者による客観的な評価を行い、利用者に対するサービスの質の向上を図ることを目的として、「柏市アフタースクール事業運営評価懇談会」を設置することとする。

〈年間スケジュール〉

時期	取り組み	主な内容
8月7日	第1回 運営評価懇談会	・ 懇談会の設置目的など説明 ・ 評価項目の共有、現地視察
12月頃	評価項目の確定	・ 評価項目のフィードバックを受け、事務局で修正し、項目を確定
2月頃（予定）	第2回 運営評価懇談会	・ 確定した評価項目をもとに視察を行い、事業評価を実施 ・ 次年度へ向けた協議 など（予定）

(2) 高小すまいるの実施報告について

令和 6 年 10 月から令和 8 年 3 月末まで、地域ボランティアの見守りのもとと児童に安全・安心な居場所を提供し、健全な成長を目指すことを目的とした「高小すまいる（放課後子ども教室居場所型）」を高柳小学校で実施した。

項目	実施内容・詳細
実施期間	令和 6 年 10 月～令和 8 年 3 月末まで
利用対象	1～6 年生の全児童
開設日時	授業のある平日のみ パンザマストまたは午後 4 時 40 分のいずれか早い時間
利用料金	無料
体験プログラム	毎週木曜日に実施

〈児童の参加状況（令和 7 年度 最終）〉

総開催日数：169 日

延べ利用者数：7,080 人

1 日平均利用人数：41.9 人/日 ※最大 61 人

学年	登録者数	登録割合	延べ利用人数	延べ人数割合
1 年生	82 人	25%	3,045 人	43.0%
2 年生	66 人	20%	2,843 人	40.2%
3 年生	69 人	21%	805 人	11.4%
4 年生	57 人	17%	355 人	5.0%
5 年生	32 人	10%	28 人	0.4%
6 年生	21 人	6%	4 人	0.1%
合計	327 人	100%	7,080 人	100.0%

※ 1 年生は 5 月 19 日から参加開始

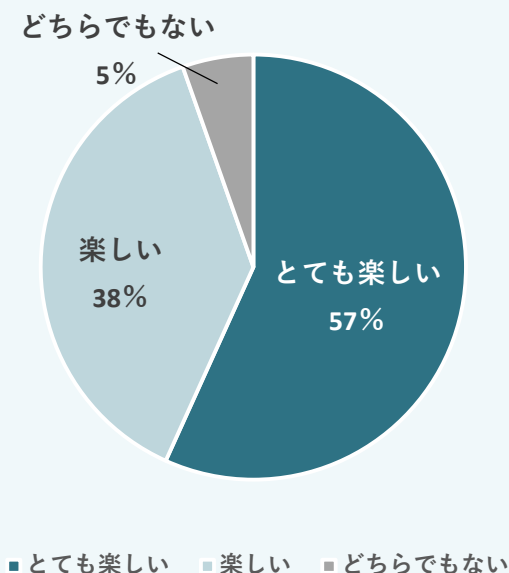
〈体験プログラムの実施状況（全 30 回開催 参加延べ人数：1,057 人）〉

開催日	体験プログラム名	延べ参加人数（人）
05/08	ねぶた囃子体験	16
05/15	※ワークショップ	25
05/22	あそびの博士になろう	20
05/29	あそびの博士になろう	27
06/12	バスケットボール	41
06/26	バスケットボール	33
07/10	かるた	23
07/17	かるた	18
09/04	防災安全教室	25
09/11	※工作教室	57
09/25	※工作教室	58
10/02	ねぶた囃子体験	29
10/09	※工作教室	56
10/16	ふわどっち	31
10/23	※工作教室	39
10/30	スポ推	30
11/06	勾玉	27
11/20	※工作教室	48
11/27	バスケットボール	28
12/11	バスケットボール	35
12/18	バスケットボール	27
01/15	タッチラグビー	31
01/22	※工作教室	75
01/29	スナッグゴルフ	30
02/05	ねぶた囃子体験	11
02/19	防犯講習会	15
02/26	※工作教室	51
03/05	※浮沈子	50
03/12	※リベンジスライム	52
03/19	※傘袋ロケット	49

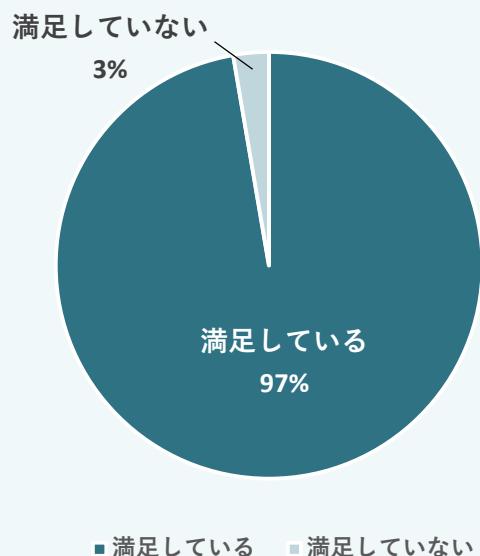
〈アンケート集計結果〉

回答数：44件（1年22件，2年13件，3年6件，4年3件）

（児童）高小すまいるは楽しいか



（保護者）高小すまいるに満足しているか



■児童からの声

- ・体育館で遊べたことや、スライムづくりなどの工作ができることが楽しいという声が寄せられた。また、学年問わず友達と遊べたことが楽しかったとの声があった。
- ・今後実施してほしい体験として、サッカーやバスケットボールなどのスポーツ系プログラムを希望する声が多く見られた。

■保護者からの声

- ・「子どもが楽しんで参加している」「学校内なので安心して過ごせる」「いろいろな体験プログラムがあり飽きずに通っている」との評価が寄せられた。
- ・仕事等で保護者が不在となる時間帯の子どもの居場所としての役割を担っている一方、習い事の都合などで体験プログラムに参加できない、短縮日課で高小すまいるが利用できない日があったとの声があった。

〈高小すまいるの総括〉

高小すまいる事業の継続に伴い、1日あたりの参加児童数が増加し、限られた活動場所での過密化が課題となった。

アフタースクール事業では、従来のこどもルームの保育室に加え、学校と協議の上で余裕教室を借用し、受け入れ規模の拡大を図ることで過密化の改善に取り組んでいる。

また、体験プログラムは週1回・固定曜日で、市職員による調整のため内容と頻度に限界があった。アフタースクール事業では、業務委託することで民間事業者のノウハウを活用し、週に複数回の多様な体験機会の創出することが可能となる。

(3) 柏市アフタースクール事業の運営状況について

〈①令和8年5月1日時点での登録児童数・学年ごとの割合〉

基本情報		学年別 登録人数(人)						プラン別 登録人数(人)			全年5月との比較	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	A	B	C	登録数	増減
酒井根東小	102	39	29	24	7	3	0	33	19	50	67	+35
柏五小	253	79	99	59	16	0	0	53	85	115	176	+77
富勢小	183	63	50	30	36	3	1	33	54	96	128	+55
柏三小	352	106	132	65	40	8	1	86	99	167	246	+106
旭小	170	34	36	58	34	7	1	46	45	79	123	+47
酒井根小	148	49	42	31	16	9	1	27	34	87	102	+46
土南部小	121	34	33	29	18	6	1	19	34	68	86	+35
松葉二小	182	67	49	49	10	6	1	54	49	79	105	+77
光ヶ丘小	273	85	89	60	33	5	1	66	79	128	185	+88
柏四小	177	62	59	35	16	5	0	43	61	73	124	+53
田中小	332	112	100	62	44	13	1	72	89	171	214	+118
土小	144	51	30	39	18	6	0	37	47	60	87	+57
柏八小	155	52	58	27	8	10	0	35	37	83	107	+48
名戸ヶ谷小	169	39	37	61	20	10	2	42	49	78	108	+61
大津ヶ丘一小	76	33	21	8	9	5	0	19	24	33	59	+17
高柳小	207	61	59	59	26	2	0	29	66	112	147	+60
高柳西小	67	25	15	15	8	4	0	12	17	38	43	+24
豊小	172	64	46	42	15	5	0	39	58	75	116	+56
松葉一小	182	42	69	40	23	7	1	52	47	83	144	+38
田中北小	534	193	163	108	62	6	2	104	168	262	359	+175
合計	3,999	1,290	1,216	901	459	120	13	901	1,161	1,937	2,726	+1,273

学年別 割合(%) ※対合計比						プラン別割合(%)		
1年	2年	3年	4年	5年	6年	A	B	C
32.3%	30.4%	22.5%	11.5%	3.0%	0.3%	23%	29%	48.4%

②体験プログラムの実施状況

希望するすべての児童に多様な体験・活動の機会を提供するため、原則として体験プログラムを週3回以上、継続プログラムを週1回以上実施するよう事業者に求めている。また、体験プログラムのうち月2回以上は、地域住民や市内企業、指導員の特技を活かす等、「地域人材」の参画によるプログラムを実施することを条件としている。

8月プログラムカレンダー実績

【松葉二小（明日葉）】

2026年8月						
月	火	水	木	金	土	日
PG実施時間 15:40～16:40 ※★がついているPGは上記時間と異なります。					1	2
			10:30～11:30			
3 理科室 家庭科室	4 理科室 家庭科室	5 図工室 家庭科室	6 図工室 家庭科室	7 図工室 家庭科室	8 ←保育室	9
★ こども 盆踊り 体育館 定員20名 10:30～11:30		継続PG STEMON① ルーム② ※8月抽選なし	★ 算楽塾 ルーム① 定員30名	★ パステルシャインア ート ルーム① 定員30名 15:15～16:45		
10 理科室 家庭科室	11 理科室 家庭科室	12 図工室 家庭科室	13 図工室 家庭科室	14 図工室 家庭科室	15 ←保育室	16
★ スライム おもりづくり ルーム② 定員30名 10:30～11:30		体験PG (ハート) ルーム② 定員30名	継続PG 歌唱 EP ルーム② ※8月抽選なし	★ 季節のドームづくり 工作 ルーム③ 定員30名 10:30～11:30		
17 理科室 家庭科室	18 理科室 家庭科室	19 図工室 家庭科室	20 図工室 家庭科室	21 図工室 家庭科室	22 ←保育室	23
バスボム 作り ルーム② 定員30名 10:30～11:30	★ 書道教室 ルーム② 定員30名	★ BITS ダンス 体育館 定員30名 10:50～11:30		継続PG ダンス ストレイン① 体育館 ※8月抽選なし		
24 理科室 家庭科室	25 理科室 家庭科室	26 図工室 家庭科室	27 図工室 家庭科室	28 図工室 家庭科室	29 ←保育室	30
体験PG リーススポーツ 体育館 ①15:40-16:10 ②16:10-16:40	★ 手作りランタン工作 ルーム① 定員30名 10:30～11:30	継続PG STEMON② ルーム② ※8月抽選なし	★ 体験PG 縄跳び 体育館 定員30名	★ ストローゲームを作 ろう(工作) ルーム① 定員30名 10:30～11:30		
31 理科室 家庭科室					←保育室	
継続PG ダンス ストレイン② 体育館 ※8月抽選なし			講師の来る時間：15:30 PG開始：15:55～16:40 準備のための講師は早く入ります。			

※夏休み期間中 外遊びができない時間で体育館遊びを取り入れるため体育館借用

※「こども盆踊り」、「算楽塾」、「パステルシャインアート」、「書道教室」、「BITSダンス教室」は地域人材主催のプログラム

【土小（シダックス）】



土小アフタースクール プログラムカレンダー

*プログラム時間は15:30~16:30の間で実施します。

月	火	水	木	金	土
表の見方 プログラム名 講師名 *定員制(数)		・継続プログラム…継続して受講いただくプログラムです ・体験プログラム…単発、1回で完結型プログラムです			1
3	4 305バスケ 【定員】	5 学研個別学習 【定員】	6 英語セイハオンライン 【定員】	7 オンラインイベント 学童チャンネル	8
10	11	12	13	14	15
8月10日から14日は、プログラムを休止いたします。					
17 千葉ジェッツ 【定員】	18	19 学研個別学習 【定員】	20 チアダンス 13:15~ 【定員】	20 セイハ 【定員】	21 土小プログラム アフタースクールスタッフ
24	25 英語で遊ぼう マリア先生 【定員】	26 学研個別学習 【定員】	27 英語セイハオンライン 【定員】	28 盆踊り 10:30~11:30 【定員】	29
31 土小プログラム アフタースクールスタッフ	・8月プログラムカレンダー公開日 : 7月1日(水) ・参加希望アンケート期間(安心でんしょばと) : 7月6日(月)~7月12日(日) ・参加者への連絡(安心でんしょばと) : 7月21日(火)				



※「土小プログラム」「盆踊り」「305バスケ」は地域人材主催のプログラム

【プログラムの様子】



松葉第二小 読み聞かせ



大津ヶ丘第一小 千葉ジェッツ



田中小 BiTS ダンス



松葉第一小 STEMON



柏第五小 リーフスポーツ



名戸ヶ谷小 セイハオンライン英会話

③成果と課題

■成果

- ・就労の有無等にかかわらず，希望するすべての児童に放課後の居場所や体験の機会を提供できるようになった。また，希望するすべての児童を受け入れることから，待機児童が解消された。
- ・学校施設を利用することで，受け入れ人数が拡大し，過密化が解消した。

■課題

- ・体験プログラムによっては定員を設けているため，希望しても参加できない状況がある。特に児童数が多い学校については，参加を希望している児童を受け入れられない事例が多く発生している。
- ・今後，利用児童数が増加すると，さらなる空き教室の確保が課題となる。

(4) 評価項目及び評価基準について

アフタースクール事業の運営状況について，事務局が作成した評価項目（案）が評価項目として適切であるかを確認いただくため，現場視察を実施する。

委員の皆様には，実際の運営状況やプログラムの実施状況を視察いただき，現場の様子を踏まえながら評価項目（案）について御意見をいただくことで，評価内容のブラッシュアップを図る。

また，第2回懇談会では，実態に即した評価項目を用いて事業を評価することで運営の改善点や優れた取組を適切に把握し，利用者に対するサービスの向上を図っていきたい。

評価基準については、「A（期待を上回る状態である）」，「B（期待どおりである）」，「C（期待を下回る状態である）」の3段階を設定することで，評価者による判断基準の統一を図り，評価結果の客観性や公平性を確保したいと考えている。